

令和5年度 保育所等の看護師等配置状況調査集計結果

※調査対象：保育所等

資料1-3

青森県こどもみらい課調べ
調査時点：令和5年9月1日現在

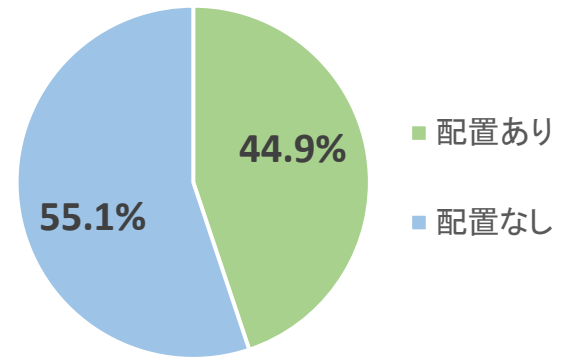
県内の保育所及び認定こども園（555施設）を対象に、看護師の配置状況や医療的ケア児の受入の可否等について調査したものの。
※【】内は令和4年度の数字。

1 看護職員の配置状況

① 配置あり	249 施設	【245施設】
(うち、看護師211名、准看護師106名)		
(うち、常勤看護師125名、非常勤看護師85名)		
(うち、常勤准看護師69名、非常勤准看護師37名)		
② 配置なし	306 施設	【317施設】

看護師・准看護師の主な業務は、多い順に、乳児保育（50.3%）、幼児保育（10.1%）、病児保育（8.4%）、障害児保育（3.2%）、であった。

看護職員の配置状況

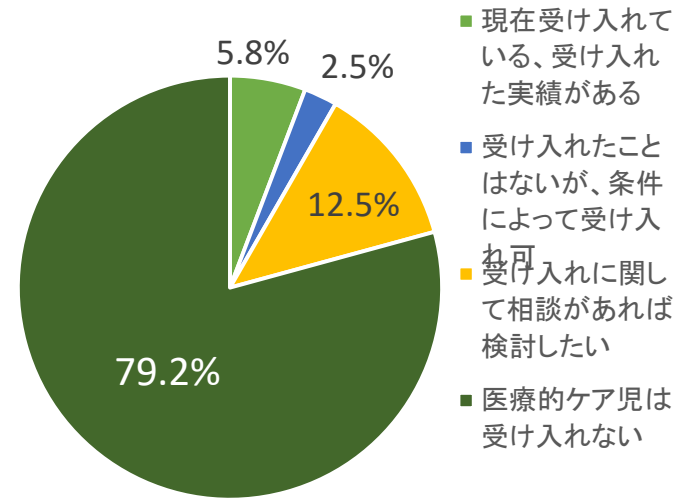


2 医療的ケア児の受入の可否

① 現在受け入れている、受け入れた実績がある	32 施設
② 受け入れたことはないが、条件によって受け入れ可	14 施設
③ 受け入れに関して相談があれば検討したい	69 施設
④ 医療的ケア児は受け入れない	439 施設
受入可能人数（①、②及び③）	115 人

※ 未記入1施設

医療的ケア児の受入の可否

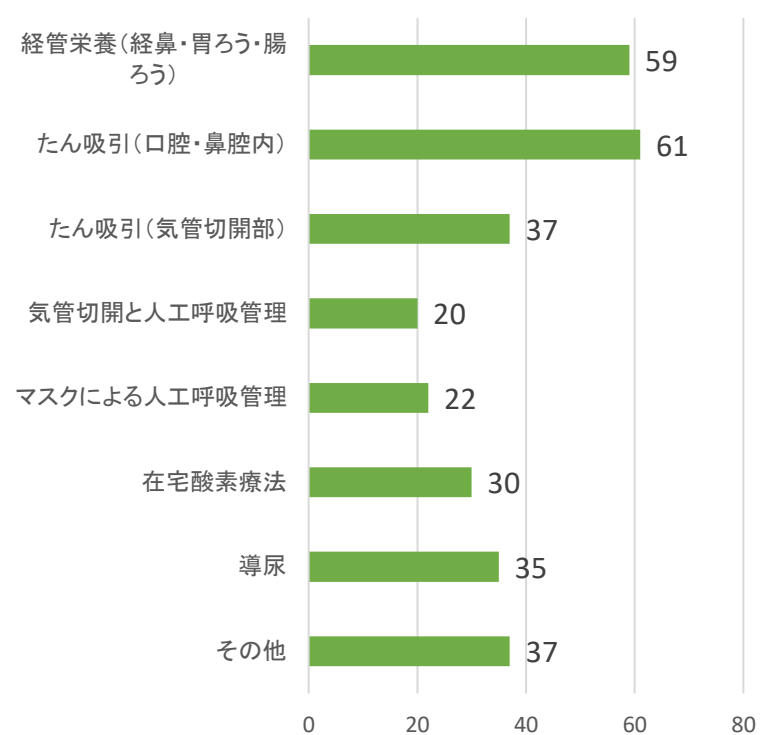


3 提供可能（相談があれば検討する場合も含む）な医療的ケアの種類（複数回答可）

① 経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう）	59 施設	【44施設】
② たん吸引（口腔・鼻腔内）	61 施設	【51施設】
③ たん吸引（気管切開部）	37 施設	【35施設】
④ 気管切開と人工呼吸管理	20 施設	【17施設】
⑤ マスクによる人工呼吸管理	22 施設	【17施設】
⑥ 在宅酸素療法	30 施設	【29施設】
⑦ 導尿	35 施設	【33施設】
⑧ その他	37 施設	【28施設】

提供可能（または検討可能）な医療的ケアの種類は、たん吸引（口腔・鼻腔内）が最も多く、経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう）、次いでたん吸引（気管切開部）、導尿の順となった。その他の内容は、インスリン注射が多くを占めている。

提供可能（相談があれば検討する場合も含む）な医療的ケアの種類



4 受け入れ可能の場合の年齢等条件

主な内容

【年齢】※()は回答数

- ・3歳児以上(2)

【児童の状態】

- ・症状や日常のケアが安定していて、集団保育・生活が可能であること。

【看護師の配置状況等】

- ・看護師や保育教諭の配置体制が整えば可能。
- ・配置基準外の看護師を雇用できるだけの補助がある場合に限る。

【その他】

- ・経験した範囲内であれば可能。
- ・医療的ケアに必要な器具等を持参。
- ・医現在受け入れている園児以外の受入は行わない。
- ・家族や関係者等と相談の上
- ・補助金等が交付される場合に対応。

5 医療的ケア児の受け入れに係る相談

(1) 相談の有無（令和4年度～令和5年9月1日）

あり	33 施設
なし	522 施設

(2) 相談の内容及び受け入れに至らなかった理由（(1)が「あり」の場合） ※ 標記・表現は一部編集。

①相談の内容	②受け入れに至らなかった理由
園児の兄弟で経管栄養が必要な子どもの入所相談。	保護者か看護師のみの対応ということで看護師がいないので対応できなかった
はぐくみプラザを通し、無痛無汗症のお子さん(2歳児)の受け入れについての相談。	看護師がいないこと、現在の在籍児童において配慮の必要な子が多数いるため、職員の配置が難しい旨を伝えたため、園の見学には至らなかった。
経管栄養と導尿による園児の入所相談。	家が遠く送迎が難しい。
経管栄養・口腔・鼻腔内たん吸引の園児の入所相談。	看護師が一人しかおらず、他職員が必要最低限の知識や技術を持ち合わせていないため。
市町村からの医ケア児の受け入れが可能かとの問い。	職員不足のため。
医ケア児の受け入れが可能か。	希望するサービスやニーズに応えることが難しかったため。
水頭症で機械が脳に入っているが、入所することは可能か。	入園年齢に達していないため 掛かり付けの医師と相談して入園できる時期を考える
保育施設等に入園させたい。	その年齢の利用定員が一杯だった。また、医療的ケア児の発達をカバーする設備が整っていなかった。
たん吸引を必要とするお子さんの受け入れについて保健師からの問い合わせ。浣腸での排便を必要とするお子さんの受け入れについて。	昨年度の相談内容で、昨年度もたん吸引を必要とするお子さんを受け入れていた為(卒園の為、次年度は可能と説明。)
障害児の受け入れを行っている聞いたが、たんの吸引が必要な子の受け入れはしているか。入れる園がなく、困っている。	看護師の確保やスキル不足等により、希望するサービス・ニーズに応えることができない。
受け入れをして欲しい	医療的ケア児本人に関する状況確認が出来なかった。受け入れに関して、自治体のガイドラインがない(作成中)の段階だった。
①呼吸を補助するための気管切開とカニューレ留置。喀痰吸引。 ②在宅酸素療法(鼻カニューレチューブ使用)。	心身共に安心して生活を送ることができる環境を整えられるよう未就園児教室(メリーランド)の利用を提案したが、利用しない状態が続いている。
気管切開している1歳のお子さんの入園相談。	保護者が車の免許を持っておらず、自宅近くの園に入園が決まった。
上のお子様に通っている園に看護師がいないため。ヘルペス脳炎、てんかんウエスト症候群、発達の遅れの子の受け入れ相談。	成長段階において今後も他の合併症が出てくることもあるかもしれないとの事と看護師が現在1名しかいない為。
1日に数回の導尿が必要	看護師を採用していなかったため
受け入れて欲しいという要望	保育教諭の配置人数上、難しかった為

等

6 令和5年9月1日現在で受け入れている医療的ケア児数

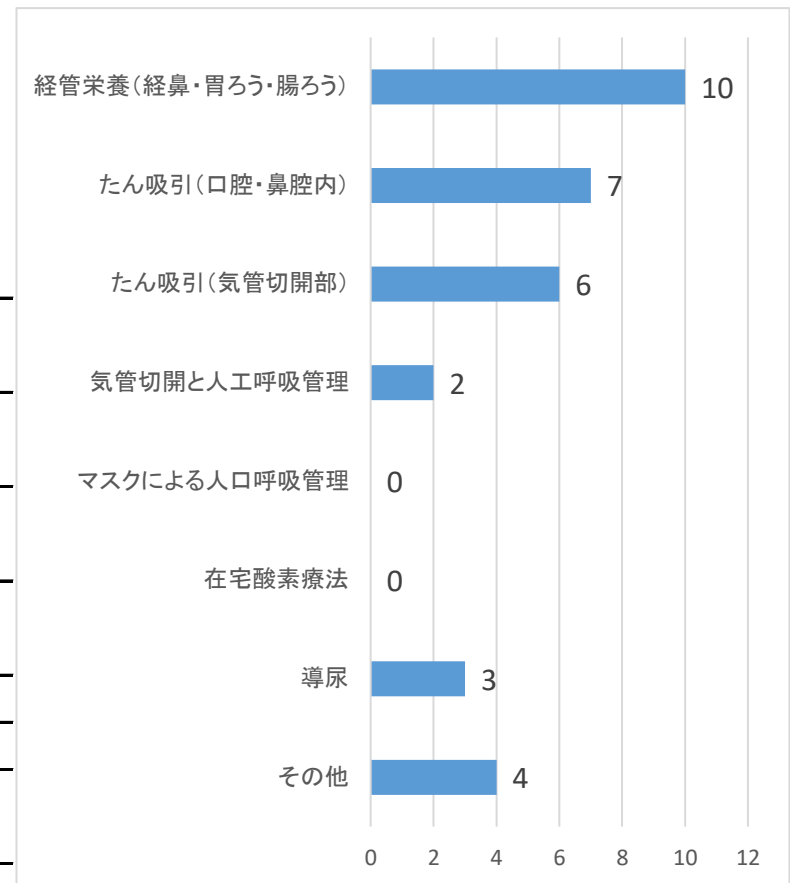
21名（16施設） 【16名（13施設）】

※1歳4名、2歳1名、3歳4名、4歳7名、5歳4名、6歳1名

（医療的ケアの内容（重複有））

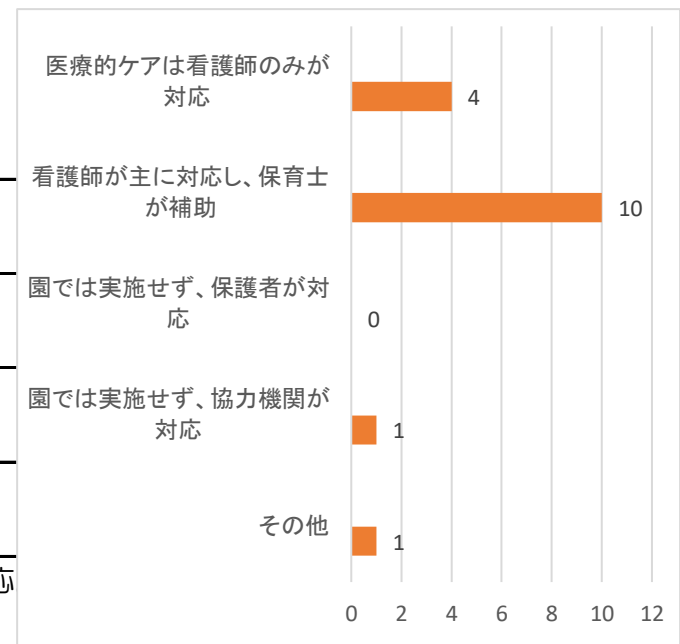
① 経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう）	10名	【6名】
※1歳2名、3歳3名、4歳4名、5歳1名		
② たん吸引（口腔・鼻腔内）	7名	【7名】
※1歳1名、3歳2名、4歳4名		
③ たん吸引（気管切開部）	6名	【7名】
※1歳1名、3歳1名、4歳3名、5歳1名		
④ 気管切開と人工呼吸管理	2名	【2名】
※3歳1名、4歳1名		
⑤ マスクによる人工呼吸管理	0名	【0名】
⑥ 在宅酸素療法	0名	【0名】
⑦ 導尿	3名	【2名】
※1歳1名、3歳1名、4歳1名		
⑧ その他	4名	【5名】

※2歳1名、5歳2名、6歳1名（インスリン注射、発作の管理、鼻吸引・酸素飽和濃度測定、血糖測定、インスリンポンプによるインスリン注入操作）



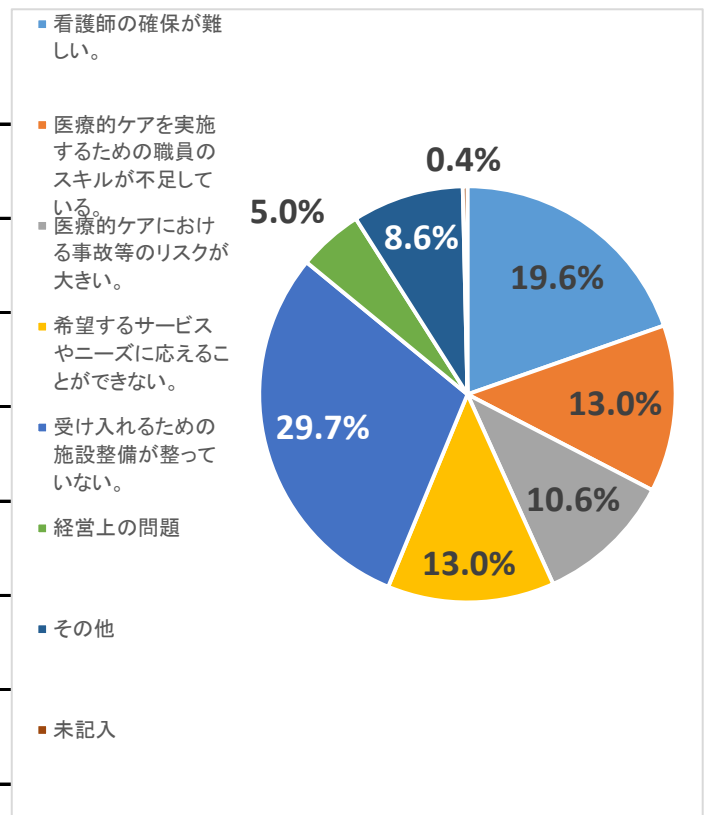
7 上記6の施設における医療的ケアの実施状況

① 医療的ケアは看護師のみが対応	4施設	【3施設】
② 看護師が主に対応し、保育士が補助	10施設	【8施設】
③ 園では実施せず、保護者が対応	0施設	【1施設】
④ 園では実施せず、協力機関が対応	1施設	【0施設】
※県内事例は訪問看護ステーションのみ		
⑤ その他	1施設	【1施設】
※園の看護師が公休の際は、訪問看護サポートセンターの看護師が対応		



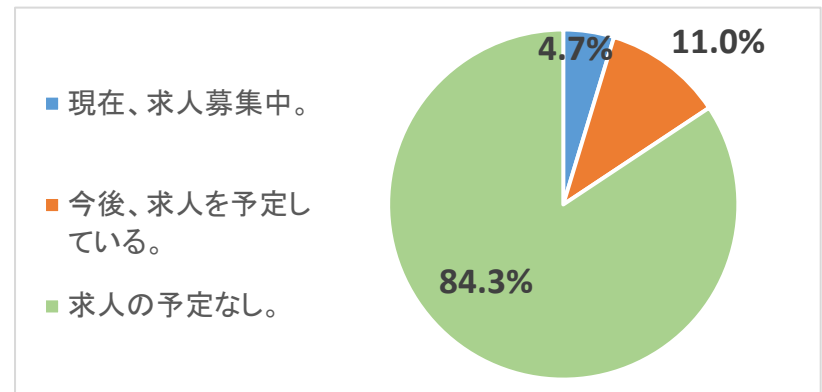
8 医療的ケア児を受け入れるための課題・受け入れない理由

① 看護師の確保が難しい。	109 施設
② 医療的ケアを実施するための職員のスキルが不足している。	72 施設
③ 医療的ケアにおける事故等のリスクが大きい。	59 施設
④ 希望するサービスやニーズに応えることができない。	72 施設
⑤ 受け入れるための施設整備が整っていない。	165 施設
⑥ 経営上の問題	28 施設
⑦ その他	48 施設
⑦ 未記入	2 施設



9 看護師の募集状況について

① 現在、求人募集中。	26 施設
② 今後、求人を予定している。	61 施設
③ 求人の予定なし。	468 施設



10 求人募集の内容について（9で①と答えた場合）

(主な内容)

雇用形態	雇用期間	就業時間	労働日数
要相談	—	—	—
正社員	R5.4~R6.3(契約更新の可能性有)	—	週40時間
正社員	定めなし	シフト制(8:30-17:30、10:00-19:00)	4週8休
常勤	—	8:30~17:00	月20日
常勤	R5.4~6.3契約更新の可能性あり	8:30~17:30	月21日
臨時職員	~R6.3(原則更新)	9:00~17:30	40時間
パート	~R6.3(更新の可能性あり)	8:00~16:00	週5日
パート	一年契約	8時~16時	週4日
パート	更新可	3時間以上	—

11 県ナースセンター（ナースバンク事業）について

① 知っている。	273 施設
② 知らない。 (未記入3)	279 施設

12 ナースセンターに求人登録あるいは相談をしたことがあるか。（11で①と回答した場合）

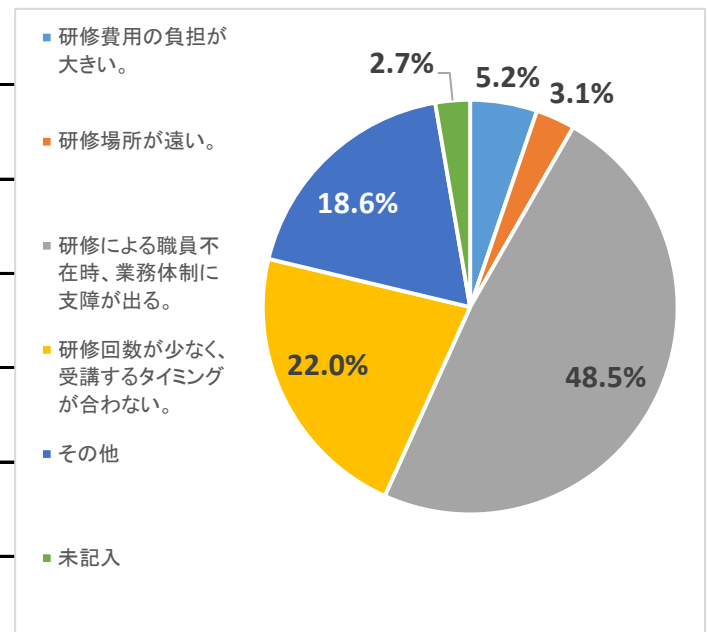
① ある。	32 施設
② ない。 (未記入6)	235 施設

13 介護職員等医療的ケア研修（喀痰吸引等研修）の3号研修の受講状況等

① 受講あり	32名（26施設）
② 受講なし	（529施設）

14 介護職員等医療的ケア研修(喀痰吸引等研修)の課題・問題点

① 研修費用の負担が大きい。	29 施設
② 研修場所が遠い。	17 施設
③ 研修による職員不在時、業務体制に支障が出る。	269 施設
④ 研修回数が少なく、受講するタイミングが合わない。	122 施設
⑤ その他	103 施設
⑥ 未記入	15 施設



15 重症心身障害児受入

① 可	12 施設
② 不可 (未記入10施設)	533 施設

16 保育所等における医療的ケア児の保育を推進するために有効だと考える対策（複数回答可）

① 医療的ケア児の支援に関する保育士等向け研修の実施	317 施設
② 医療的ケア児及びその支援方法の周知	275 施設
③ 職員のリスク・不安を軽減するためのバックアップの充実	442 施設
④ 医療的ケア児の支援に係る多職種連携の推進	306 施設
⑤ 看護師雇用のための支援	317 施設
⑥ 経営上の財政的支援	351 施設

